

尚、記念講演いただきました船山馨先生に対しての謝礼の件に関しましては先生はお金の為に講演したのではなく、函館を愛して態々おこし下さったとの事で経費の一部はクラブで有意義に活用下さる様にとの事でございました。

●幹事報告

- ①亀田R.C.夜間例会(10月29日PM6時)国際ホテルで行なう予定でしたが、国際マリーナクラブに変更になりました。(ビクター料¥2,000)
- ②来る10月29日(月)PM6時(於)湯の川(一乃松)第5回アッセンブリー(10周年記念の反省会を兼ねて行ないます。
- ③先般第4回アッセンブリー出欠の件、再三お願いしているのかかわらず返事なく大変苦労しています。今後共連絡だけは密にしてほしいものです。忙しいのは皆同じである、大いにロータリー精神に接すべく心してほしいと思います。
- ④毎度お金の事で大変申し訳ありませんが、本日別紙請求書・明細の通り4半期毎分割納入分¥20,000と10周年特別負担金¥15,000は出来れば今月中に拓銀万代町支店へ振込んで下さい。

●ニコニコボックス ●親睦活動委員会

- ★遠藤 尚義会員 10周年記念大会が盛大に終わったことを記念して(超、宇宙の石賞)
- 俣野 純夫会員 10周年記念大会が盛大に終わったことを記念して
- 新 善次会員 10周年記念ゴルフ大会が終了したことに感謝して
- 成田 勇司会員 暫くでした
- 松橋 博会員 なんとなく
- 椎谷 龍彦会員 10周年記念大会欠席のお詫びとして
- ★誕生 祝 松本 修会員 おめでとうございます。

●卓話 「箴言と覚え書」 遠藤 尚義会員

私の箴言(しんげん)録…いましめの言葉、遠藤尚義会員の非常に有意義で格調高いお話を本日掲載する予定でしたが、会報の手違いで次週に掲載させて頂くことになりました。誠に申し訳なく深くお詫び申し上げます。 会報係

●お知らせ

10周年記念で記念品として用意しました船山馨氏のサイン入りの本がクラブに残って居りますので、希望者は幹事又は事務所に申し出下さい。(定価¥800)

●出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
48. 10. 24	55名	38名	17名		
48. 10. 17	55名	40名	15名	13名	96.32%
在函クラブ	(10/9) 函館東R.C. 98.99%	(10/11) 函館R.C. 94.31%	(10/12) 函館五稜郭R.C. 100%		

★第470回例会欠席者

青柳・大嶋・飯田・岩塚・大井・杉本・小村・川筋・下郡山・山内(一)・小笠原・成沢
沢村・佐々木・山内(文)・山崎(尚)・石橋 (17名敬称略)

次回例会日 11月7日

プログラム〔未定〕四倉 太郎氏

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

事務所

函館市大手町5-10

日魯ビル 3階

☎(0138) 23-3870



例会場

函館市大手町5-10

国際ホテル ☎(0138)23-8751

例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

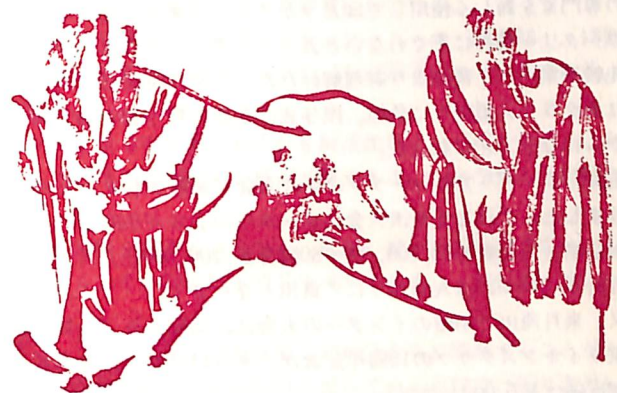
1973. 11. 7

1973~1974 第18号

第472回例会

「A Time for Action」今こそ行動のとき

(William C. Carter R.I. 会長指針)



深瀬 鴻一郎 会員

本日のプログラム

「家庭教育について」四倉 太郎氏

第471回例会記録

◎司会 駒井 幸一 会長

◎斉唱 手に手つないで

◎ゲスト 大 田R.C. 石山 靖男 (自動車部品)

函 館R.C. 中村清右衛門他9名

函 館 東R.C. 齊藤 正雄 他5名

函館五稜郭R.C. 島田 良雄 他5名

亀 田R.C. 河村 沢治

●幹事報告

- 1, 昨日11月30日東雲町「 」にて、第3回在函5クラブ幹事会が開かれた。午前6時30分より長時間にわたり多方面の議題があり、以下報告致します。
 - A, 先般もお話し申し上げましたが、来年2月23日はR.I.の創立記念日に当たりますが、その際、在函5クラブ合同夜間例会を昨年度同様に開催することに決定しました。
場所＝駅前拓銀ビル8階大ホール 時間＝午後6時～8時
記念講演は評論家の俵萌子女士に決定した。5クラブ会長名で依頼文を出すことになっております。昨年度同様各クラブS.A.A.の皆様会場設営等で御世話になることと存じます。
 - B, 各クラブ会報委員会は会報編集が大変なので、5クラブで費用を負担し、会報編集の専門家を新しく使用してはどうか？と云う意見が出ましたが、各クラブの特色とロータリー精神にそぐわないと云うことで、この件は否決されました。
 - C, 先般御案内にて皆様より御理解いただいた身体障害者に対する椅子80脚、寄附の件は各クラブ人頭割りに負担。授与式は函館矢野市長が海外旅行につき、帰函されてから行なうことになった。
 - D, 先般、ローターアクトクラブの年次大会が開催されましたが、¥77,089費用がかかりました。それと岩見沢大会にローターの会長が出席し、この分¥19,680と事務局員2名、大会費¥41,760、椅子80脚分¥200,000と、ステッカー分¥3,500。合計¥341,929は人頭割りにて負担となります。
又、来月滝川で開催のインターの大会は、函館より7～10名出席の予定です。
- 2, 東ライオンズクラブの15周年記念が、来る11月27日行なわれますが、各クラブ共、御祝儀は¥5,000と決定。
- 3, 先般、27日第5回クラブアッセンブリー（10周年記念反省会）を行ないました。急であったこともありましたが、過去例にみないほど出席が悪かった。人数の割には中身のこい大変有意義なアッセンブリーであった。
出席者は次の通り。
松本・松橋・森(秀)・青柳・吉井・遠藤・駒井・平野・本間(隆)・戸崎・山崎(幸)・山崎(尚)・深瀬・柴田・大井・高杉・宮崎・市川 (18名順敬称略)
(連絡なしに欠席の会員はペナルティーにしたい)

●ニコニコボックス

吉井会員～第5回アッセンブリーの出席が悪かったおわびとして
戸崎会員～遠藤会員の卓話を今週の会報にのせることが出来なかったおわびとして
沢村会員～北ロータリー10周年記念式典に欠席したこと及びヨーロッパ旅行無事終てえ

大井会員～息子さんの結婚式を祝って
青柳会員～ただ何となく

◎卓話 “箴言と覚え書き” 遠藤 尚 義

清水幾太郎著“本はどう読むか”の中で、どういふ本を読んだらよいか、読んで得た内容を忘れないにはどうすればよいか、箴言の整理にはどういふ方法があるか。外国語に慣れるにはどうしたらよいか、これらの点はすべての読書者にとって重大な問題である、と云っている。

“箴言”と云うのは、いましめの言葉、の意味で、私は読んだものの中で感銘を受けたもの、共感を覚えた文章をノートに書きこんで参考にしていく。

17世紀のフランスのモラリストであるラ・ロシュフーユの「箴言録」、18世紀の哲学的、諷刺的箴言の大家であるリヒテンバーグの「わが箴言」、など有名である。

私の箴言の紹介を始めよう。

- 1, 問題に直面したからと云って必ずしもそれを解決出来るとは限らない。しかし、何事であれ解決する為にはまず直面する事が必要である。(北方領土の問題などその好適例)。
- 2, 友人を批評するのに苦痛を感じるようなら、批評してもさしつかえない。少しでも楽しく感じられるなら、その時ま口を閉ざすべきである。(群盲象を評することにならないよう)。
- 3, 過激論者は「コミュニケーション」とは他人が自分たちに同意することだと思っている。(自分の意見だけが絶対的に正しいと思っている自信家は困り者だ)。
- 4, 心外無別法(万事は心次第との意、私はこの言葉が好きだ)。
- 5, 恩を施しては思うことなく、恩を受けては忘れること勿れ。(受けた恩は石にきざみ、施こした恩は川に流す)。
- 6, 蜚二十日は蟬三日(人生とは朝露の如し)
- 7, 上医は未だ病まざるの病を医し、中医は病まんとするの病を医し、下医は既に病むの病を医す。(私は下の下医)
- 8, 我が心は石にあらねば転ばすべからざるなり、我が心は帯にあらねば巻くべからざるなり。(不退転、格好い！)
- 9, 吾背子は、物な念ほし、事しあらば、火にも、水にも、吾無けなくに。(万葉の中で一番激しい女房の心意気)
- 10, 知足の者は食しといえども富めり、不知足の者は富めりといえども食し。(富は常に足るを知るより富めるなし)

★鎌倉の建長寺の前管長 菅原時保師の話

山寺の小僧として育った。10才位の時お経をあげに行った時、赤ん坊の泣き声がする

のでよく見ると板の間を這い乍らおしっこをしている。赤ん坊のうしろにはご飯の「しゃもじ、が落ちていて、それに「おしっこ、がかかった。何も知らぬ母親はその「しゃもじ、で釜からおひつにご飯をうつした。食事が出たが「はし、をつけずに帰った。それから七日過ぎてその家に行った、お経がすんで熱い甘酒を出してくれた、寒い日だったし甘くておいしかったので何パイも飲んだ。おばさんも喜んでお小僧さん有難う。この前は何も食べてくれなかったのでご飯がこのり、らしは困ってたあ、甘酒に仕込んだらこんなにたくさん飲んでくれてわしは嬉しいよ、ありがとう。(災難にあう時には災難にあうがよろしく、死ぬる時には死ぬがよろしく：良寛) 覚え書の一つだけ。

◎卓 話「裁判こぼれ話」小村会員

こぼれ話と云う題で話す様にと云うことであるから、裁判と云うカタイ器からこぼれ落ちたやわらかい話しをしてみたいと思います。

裁判は民事訴訟と刑事訴訟に大別されますが、先ず民事訴訟は現在争っている紛争を解決しようとするのが主たる目的とするもので、弁論主義を採っている。これは判決の元となる基本的な事例は当事者が申し立てている中からのみ問題を取り上げるもので、何が真実であるかよりも当事者の主張、申し立てを重視して解決を図ろうとするものである。一方刑事訴訟は犯罪者に刑罰を課すると云う意味で重大な手続きを要する。従って本人の基本的人権を犯すことが出来ない。そこで本当の真実を追求しようとする。この点で自白と云うことが大きな問題となる。戦前と比較して「自白」はいろいろな点で大きく変っている。民事訴訟では申し立てのみが問題として取り上げられるのに反し、刑事訴訟では自白も含めて真実を追求する点が大きな相違である。昔の裁判所では刑事訴訟でも自白が大きなウイエトを占めていたが、現代では自白が唯一の証拠である場合は証拠とならないし、又自白を強制することが出来ない。更に不当な状態で自白させた場合の自白(利益誘導等)は証拠にはならない。民事訴訟では真実が何であろうと(真実が明らかな場合の外は)当事者が認めればそれで事足りる。但し、この場合でも客観的な事実を無視すると云うことでは勿論なく出来るだけ真実に近づけ様とはしている。

そのために虚偽の申し立てをした場合には「あやまち料」をとることになっている。

先日、行啓通りで交通事故があり、ある男が酒酔で道にとび出してきてタクシーにはねられて死亡したと云う事件があり、タクシー会社の依頼でこの件を担当したが、函館に住む内縁の妻と自称する女性より訴があった。しばらくすると東京より私こそ死亡した男の内縁の妻だと主張する女性が現われ、函館と東京の両方から訴訟が出された。

東京の裁判所から函館へこの事件を移送してもらい函館の裁判所でこれを裁判することになった。死亡した本人は東京にて同棲中の女性の元から函館へやって来て未亡人の経営する下宿にいたが、その女性とも深い関係になったもので、函館の妻か東京の妻か又は両者とも妻として認められないか?と云う3点で争われることとなり、裁判所とし

てもいささかやっかいな裁判をしなければならなくなったところ、函館の妻が訴訟取り下げしたので、東京の方が内縁の妻として認められることとなった。

自白の問題であるが、これは任意でしたもの以外は証拠として認められない。拘留されると不思議なことに殆んど人は自白してしまう。23日間の拘留は相当こたえとみへて大多数の人は必ずと云って良い位自白してしまうものである。本人の一度自白した調書は現在でも相当の重みをもっているので証拠から取り除くのは至難の事である。

この様な拘留されている人間の心理状態は経験しないと分りにくいと思う。或る男が法を犯してタイホされるかも知れないと云う状態になったので知り合いの代書屋のところへ金をもって行き、そのスジへ手をうってくれる様依頼した。代書屋はこれを猫パバし、この男はタイホされ取調べられた。代書屋へ金を渡して手をうったのに自分はタイホされたと申し立てたので代書屋が取調べられることになった。この代書屋はウソをつけてこれを裁判所のだれそれに渡して頼んだと申し立てたのでその人間が疑をかけられることになり、心当りはないと否認したが、代書屋の証言のために拘留されそうになった心理的に追いつめられて、何とかして拘留をのがれようと実家に相談し、その金額に相当する300円をそろへ実家は受取っていた金だと云って担当検事に申し出たが、その金が新券であるのに不審を抱いた検事が更に代書屋を追求するとついにウソをついていたことが分り真実が解明された。この話しは拘留と自白と云う点で大変示唆に富んでいると思う。

◎1975～76年度ガバナー・ノミニー候補の御紹介

R.L細則第13条第5節の規定に基き、さきに1975～76年度ガバナー・ノミニー候補者の指名推薦の告知を各クラブ宛にご案内申し上げましたが、9月10の期限までに候補者の推薦がありませんでした。

地区ガバナー指名委員会は、かねてガバナー・ノミニー候補者として指名を受けていた小樽R.C.青木一雄氏を1975～76年度第351地区ガバナー・ノミニー候補者として推薦することに決定いたしました。

来る地区大会に推薦指名の手続きをとりますのでお知らせ致します。

青 木 一 雄 (明治39年8月29日生)

現 住 所 小樽市花園町5-5-1

履 歴

昭和5年3月 北海道帝国大学農学部卒業

昭和6年 ホクレン入会

昭和8年 ホクレン小樽支所長

昭和15年 札幌地裁小樽支部調停委員

昭和23～29年 小樽市公安委員長

昭和 36年 ホクレン退職

昭和36年～現在 小樽公平委員

昭和43～現在 小樽商工組合監事

ロータリー歴

昭和9年7月 小樽ロータリークラブ入会

昭和26年7月 小樽ロータリークラブ会長

◎出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
	55名	38名	17名	15名	
在函クラブ	(10/16) 函館東R.C. 97.96%	(10/18) 函館R.C. 91.87%	(10/19) 函館五稜郭R.C. 100%		

★第471回例会欠席者

深瀬・大嶋・飯田・岩塚・杉本・森(正)・成田・椎谷・山内(一)・小笠原・佐々木・成沢・山内(文)・平山・大江・松橋・西巻・石橋・柴田・佐藤 (20名敬称略)

次回例会日

プログラム「未定」

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

事務所
函館市大手町5-10
日魯ビル 3階
☎ (0138) 23-3870



例会場 函館市大手町5-10
国際ホテル ☎ (0138) 23-8751

例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1973. 11. 14

1973～1974 第19号

第473回 例会

‘A Time for Action’ 今こそ行動のとき

(William C. Carter R.I. 会長指針)



深瀬鴻一郎会員

本日のプログラム

「ロータリー財団週間に因んで」

小畑パストガバナー

第472回 例会記録

◎司 会 駒井 幸一会長

◎斉 唱 奉仕の理想

◎ゲ ス ト 四倉 太郎氏

◎ビジター 根 室 西R.C. 菊地 正俊氏

小 樽 南R.C. 小松 清氏